

サーキット・ライダー2008年 2月号

レント（受難節）の始まり

すると主は、「わたしの恵はあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています。なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです。

コリントの信徒への手紙二 12：9-10。

今回はちょっと仏教の逸話をから始めますが、譬話ということでご了承下さい。ある日、お釈迦様の所に自分の子供を病気で亡くした婦人が救いを求めてやってきました。婦人は「この苦しみからお救い下さい。」とお釈迦様に哀願します。そこで彼は「では、これまで一度も不幸を経験したことの無い人を探して連れてきなさい。そうすればあなたを救ってあげよう。」とその婦人に言いました。そこで彼女は自分の村また近隣の村々、家々を訪ね回り、不幸にあったことのない人を探しました。まず彼女は大金持ちで子宝に恵まれ全く不幸に縁が無いと思われる家に行きました。しかし、その一家はこうなるまでに一度財産を失ったり家族を病気で亡くしたりしていました。また他の家に行くと夫を戦で失ったばかり。また他の家を訪ねると彼女と同じように子供を失い深い悲しみを経験しながらも健気に生きている女性に出会いました。出会う人出会う人、悲しみや苦しみの経験の無い人は一人としていませんでした。この婦人は「皆、悲しみや苦しみと出会いながらも、それに耐え乗り越えようと必死に生きているのだ。」と気づきます。そして彼女はお釈迦様の元に戻り、そのことを伝え自分も御釈迦様に弟子入りして余生を過ごしたそうです。

この話からも分かるように人は誰でも悲しみや苦しみを体験します。傍から見るとどれほど裕福で物質的に恵まれ、社会的にも認められ、くつろげる家庭を持ち幸福に思えるような人であってもやはり苦難、悲しみを経験したことの無い人は一人もいません。私たちの周りを見回しても闘病生活をしている方、離婚や親子の断絶など家庭で辛い思いをしている方、友人や知人とのギクシャクした関係に悩んでいる方、会社が倒産したり解雇されたりして途方にくれている方、愛する人を失って深い悲しみにある方など結構います。人は何故苦しまなければならないのか。これは太古から哲学、宗教で問われてきた質問です。キリスト教では復活祭の前の日曜日を除く40日を受難節と言いますが、この期間、常日頃にもましてこの「何故苦しみや悲しみがあるのか」という問いかけをします。

受難節は正しくはキリスト・イエスが何故迫害を受け、人々から裏切られ十字架にかけられたのか、その意味を考える期日です。聖書では罪無き神の子イエスが私たち人類の罪の赦しの為に自ら十字架を背負い苦しみ神に執成しをして下さった。人間救済の為にしています。(ローマの信徒への手紙5章、6章他参照) 罪と言うと一般には人殺しとか盗み、詐欺、暴行などのようなものをすぐに思い浮かべがちですが、それらは勿論罪ではありますが、根源的な罪ではありません。聖書の言う罪とは「神から離れること」「神無き世界に生きること」つまり人間が「自己中心に生きること」をさします。盗みとか殺人、詐欺など諸々の罪は皆これ自己中心の為せる業、副産物です。キリスト・イエスは私たちを神の元に呼び戻す為に、言わば親から勘当されて家に戻れない子(私たち人間)を連れ帰るためにこの世に来られた。そして親の怒りを解いてもらうため私たちの罪を背負ってくださった。

キリスト・イエスは人々からの嘲り、愛する弟子たちの裏切り、十字架という極刑で私たち人間が知るべき全ての苦痛、絶望を体験しました。そのお方が私たちが苦しみの中にいる時「あなたは一人ではないよ。私も側にいて一緒に苦しんでいるよ。」とおっしゃってくださる。「わたしは、あなたがたをみなしごにはしておかない・・・かの日には、わたしが父の内におり、あなたがたがわたしの内におり、わたしもあなたがたの内におることが、あなたがたにも分かる。」(ヨハネ14：18-20。)

冒頭の引用は使徒パウロの言葉です。彼はキリスト教の迫害者から回心し、キリスト教の伝道者に転身しました。しかし伝道は容易ではありませんでした。ローマ、コリント、ガラテア、エペソ、フィリピ、コロサイ、テサロニケなど聖書にある書簡は彼が伝道した地名(テモテ、テトス、フィレモンは人名)ですが、どこに行っても鞭打ち、投石、投獄など様々な迫害を受けました。また彼は書簡は強烈ですが外観は案外弱々しく(2コリント10：10)、迫害の為に肉体的にもかなり弱っていたようです。そんな苦難の中で彼はイエスの言葉を聞きました。「わたしの恵はあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」パウロは主イエスが共に彼の苦しみを背負い、いつも側で励まして下さっていることを確信できました。彼はその後も伝道を続け、最後はローマのコロセウムで殉教します(伝)が、最後まで希望を捨てませんでした。それは主イエスの支えがいつもあったからです。私達もパウロと同じく「主イエスが共にいて下さる。」「彼は自分の苦しみを分かち下さる。」と思えばどんな悲しみ、苦難からも逃げずに、それを乗り越えるべく生きていくことが出来るのではないかと思います。受難節、また悲しみにある時、どうぞ主イエスの十字架を思いお過ごし下さい。

吉松 純

礼拝は日曜日午後4時です。Jr. 教会（日曜学校）も4時からです。

- 2月 3日：礼拝、聖餐式、Jr. 教会：節分の工作
- 10日：礼拝、Jr. 教会：ヴァレンタイン・チョコ、クッキー作り。礼拝後：キャンプ委員会
- 17日：礼拝、Jr. 教会：ハンドベル練習と切手整理
- 24日：礼拝、Jr. 教会：ハンドベル
- 3月 2日：礼拝、聖餐式、Jr. 教会：桃の節句、だんご作り

行事予定と報告

- * 洗礼準備聖書勉強会：毎週日曜日礼拝前の午後3時より。洗礼を受ける決心をしたかた、またまだ迷っている方、何も分からない方、皆歓迎します。
 - * 毎週月曜日、午後7時：ハンドベル聖歌隊（英語）。
 - * 毎週月曜日、午後7時—9時、祈りのため教会を開けています。8時30分から牧師と共に御言葉を分かち合い祈ります。
 - * 毎週火曜日、午前10時：聖書研究会（英語）。パウロの書簡を学びます。
 - * 毎週木曜日、午後7時：聖歌隊（英語）。英語が苦手でも讚美できます。どなたも歓迎。
 - * ユース（中高生会、英語）は第二、第四日曜日の午前9時。
- 2月23日（土）メトロポリタン美術館ツアー、午後2時30分現地集合。NJ日米協会主催、講師：吉松牧師。バロックから19世紀新古典主義まで観ます。申し込みは吉松牧師まで。
- 3月15日（土）故村富花子姉の納骨式。Westwood 墓地にて午前11時。式の後食事会、場所は追ってご連絡いたします。

お知らせ：

- 2月 6日：灰の水曜日合同礼拝（英語）、午後7時。Park Ridge 教会にて Westwood, Hillsdale, Park Ridge の3つの合同メソジスト教会が合同で受難節の始まりに礼拝を持ちます。
- * 受難節中毎週木曜日午後6時よりパンとスープの夕食と証会（英語）があります。毎回ゲストをお迎えしてレントを主題に証を伺います。どなたも歓迎します。
- 2月14日：グランストラッド・チャールズ神父 Our Lady of Mercy Roman Catholic Church Park Ridge カトリックの視点から苦難について学ぶ。
- 21日：ヴァロッティエー・チャールズ医学博士 Holy Name Hospital & Hospice 死を迎えるにあたりホスピス・ケアについてお話を伺います。*この日はホスピスを訪問します。
- 28日：クアック・ジサン牧師 Ph.D Thielles 合同メソジスト教会牧師、臨床心理学者。韓国人女性牧師としてカウンセラーとして、悲しみ苦難をどうとらえているかを伺います。
- 3月 6日：ジョン・ジョビー牧師 Congregation of South India 牧師。インド人クリスチャンの立場から苦難をどうとらえているかを伺います。
- 13日：カンター・ビドルマン・マーク Temple Emanuel カンター。カンター・ビドルマンはユダヤ教の寺院で音楽主事として働き今年40周年を迎えます。ユダヤ人にとって苦難とは、またビドルマン氏の個人的証も伺います。
- 20日：洗足の木曜日：Westwood 合同メソジスト教会にて合同礼拝。午後7時30分より最後の晩餐の劇と礼拝。
- 21日：聖金曜日礼拝、最後の晩餐（食事会）と礼拝、午後6時より。
- 23日：復活祭：早朝礼拝（英語）午前6時、メモリアル・ガーデン。英語礼拝、午前10時。日本語礼拝、午後4時。礼拝後、持ち寄り祝会。

御協力お願い致します。献金のあて先は UMC-JA とし、寄付のあて先を Note に記してください。

- * 合同修養会（ファミリー・キャンプ）とサマーキャンプの為
- * ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。
- * 消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（JOC S）に送ります。JOC S 海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。
- * ケニヤの恵まれない子供達やエイズ患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。
- * パターソンの St. Philip 伝道と社会福祉団体 CUMAC/ECHO の為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

連絡先：英語オフィス (201) 391-5499 日本語オフィス兼ファックス (201) 505-0347

吉松牧師 (201) 391-2208 junyoshim@optonline.net 代表役員：松尾孝恵姉 Takae17A@aol.com

教会学校担当：吉松 泉姉 izumi.yoshimatsu@gmail.com ホームページ：<http://umc-japan.org>